



地域研究集会

第44回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウム 相模湾の漁場環境の長期変化について

日時：2023年11月10日（金）9:30-12:30
会場：小田原市荻窪300番地 小田原市生涯学習センターホール
共催：（公財）相模湾水産振興事業団、小田原市
コンパニナー：松山優治（海洋大）・武井 正（（公財）相模湾水産振興事業団）・
滝口直之（神奈川水技セ）
問合せ先：zaisagami@samba.ocn.ne.jp

挨拶：木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会会長） 9:30-9:45
守屋輝彦（小田原市長）
武井 正（公益財団法人相模湾水産振興事業団理事長）

座長：鎌谷明善（東水大名誉教授）
小川砂郎（神奈川水技セ相模湾）

基調講演： 9:45-10:45
相模湾沿岸域の環境と低次生態系について

荒 功一（日大生物資源）

話題提供： 10:45-12:00

1. 相模湾表層の水温・水質環境の長期変化
○福山哲司（UMITO Partners（株））・荒 功一（日大生物資源）
・山田洋介（いであ（株））

2. 相模湾沿岸部の磯焼けの現状について
○芳山 拓・木下淳司（神奈川水技セ）

3. 新技術による相模湾の藻場再生の取組み
○木下淳司・相川英明・蓑宮 敦・加藤充宏・春山出穂・角田直哉・芳山 拓
（神奈川水技セ）

総合討論： 12:00-12:30
座長：松山優治（海洋大）

開催趣旨：近年、海洋環境の顕著な変化は気候や漁業とともに人間生活に深刻な影響を与えている。相模湾でも魚種交代や磯焼け等により、沿岸漁業に様々な被害が現われており、海洋環境の変化と漁業への影響について実態を把握し、早急な対応が求められている。本シンポジウムは、相模湾内での長期のモニタリング観測結果と公表されたデータの解析を通して、相模湾表層の漁場環境の長期変化を明らかにすることを目的とする。基調講演では、湾奥部における23年間の長期モニタリング調査結果から海洋環境ならびに低次生態系の長期変化や黒潮流路変動の影響について説明する。また、1980年以降、湾内定点の表層で調査されてきた水温・水質調査データの解析から水温の上昇や栄養塩濃度の低下などについて報告する。加えて、神奈川県水技センターが取り組んでいる、湾内の磯焼けの現状把握と新技術による藻場再生について報告し、総合討論では漁場環境の長期変化について、幅広く意見交換する。